



ペレットストーブ

エコティ PR03
ユーザーズマニュアル

このたびは、本品をお買い上げ頂きまことにありがとうございます。
ご使用前に、このマニュアルを必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

株式会社 西村精工

2024/10

NISHIMURA SEIKO CO.,LTD

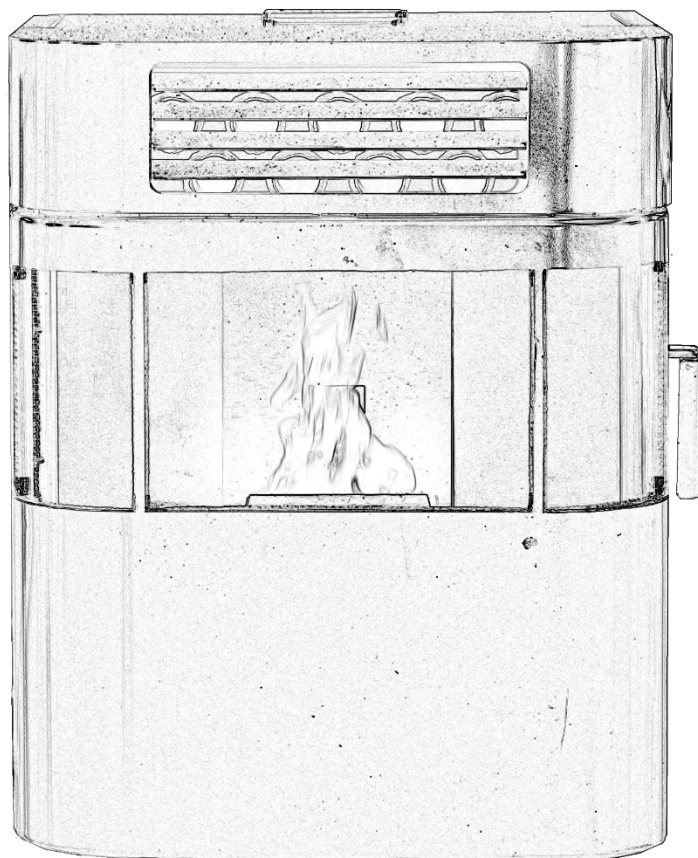
もくじ

1. はじめに	1
2. 特に注意していただきたいこと	2～5
3. 機器構成	6
4. 使用前の準備	7～12
5. 使用方法	13～14
6. コントローラーの取り扱い	15～17
7. ストーブの操作方法	17～21
8. エラー表示	21～22
9. 点検・お手入れ	23～24
10. トラブルシューティング	25～26
11. 仕様	27
12. アフターサービス	28

1. はじめに

●このマニュアルは、操作、メンテナンスに必要ですので、お客様が必ず保管して下さい。操作、メンテナンスの前に本書をよく読んで下さい。本書に書かれているメンテナンスは必ず実施して下さい。この製品は、本書に記載されている使用方法にしたがって使用して下さい。それ以外の使い方や、誤った使い方をすると危険です。その際生じた事故や故障は、すべてお客様の責任となります。この製品の設置、メンテナンスおよび修理は、お客様自身ではなく専門の技術を持った弊社代理店の手で年に1度は必ずとりおこなってください。部品交換が必要な際は、必ず正規の部品を使用してください。誤った設置の仕方や、ずさんなメンテナンスによるけがや器物破損が生じた場合、弊社はいかなる責任も負いません。


●製品のクリーニングやメンテナンス作業を行う前には、必ず電源プラグを抜いてください。この製品は、防火設備の整った建物に設置し、電源や排気口など必要なサービスをきちんと確保して下さい。



2. 特に注意していただきたいこと


安全のために必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	<p>この絵表示は、「禁止」</p>
	<p>この絵表示は、「注意」</p>
	<p>この絵表示は、「指示」</p>



警告(WARNING)

	<p>使用燃料は木質ペレット以外厳禁</p> <p>●燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対入れないでください。 火災の原因になります。</p>
	<p>排気筒外れ危険</p> <p>●排気筒が外れたまま使用しないでください。 外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。</p>
	<p>燃焼室扉解放厳禁</p> <p>●燃焼室扉が確実に閉められていることを確認してください。 燃焼中、外れ・すき間があると排ガスや炎が室内に漏れて火災が発生するおそれがあります。</p>
	<p>排気筒トップ閉そく危険</p> <p>●積雪の多い地方では、排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれている時は、除雪をしてください。 閉そくしていると運転中に、排ガスが室内に漏れて危険です。</p>
	<p>かん合部の外れ禁止</p> <p>●灰受けやタンク扉などが確実に閉められていることを確認してください。 燃焼中、外れ・すき間があると燃焼不良や排ガスが室内に漏れて危険です。</p>
	<p>スプレー缶厳禁</p> <p>●スプレー缶やカセットコンロ用ボンベなどを、温風の当たるところに放置しないでください。熱で缶の圧力が上がり、爆発して危険です。</p>
	<p>衣類の乾燥厳禁</p> <p>●衣類などの乾燥には使用しないでください。 衣類がストーブに落下して火がつき、火災の原因になります。</p>
	<p>定期点検の実施</p> <p>●定期的（1年に1回）に点検・整備・機器内部の清掃を受けてください。 点検・整備・機器内部の掃除を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因となり危険です。定期点検は設置業者又は弊社代理店に依頼ください。</p>
	<p>改造使用の禁止</p> <p>●改造して使用しないでください。また、ストーブや排気筒には床暖房用熱交換器などを取り付けしないでください。</p>



注意 (CAUTION)

	<p>カーテン、可燃物接近禁止</p> <p>●カーテンや燃えやすい物を近づけないでください。火災が発生するおそれがあります。 可燃物との離隔距離については弊社推奨離隔距離を準拠ください。</p>
	<p>特殊な場所での使用禁止</p> <p>●ストーブは居室の暖房用として作られたものですので、乾燥室、温室、飼育室などでは絶対に使用しないでください。また、クリーニング店、美容室など化学薬品を使用する場所では使用しないでください。化学薬品などの影響により異常燃焼や故障の原因になります。</p>
	<p>高地注意</p> <p>●標高の高い場所（標高 1000 m 以上）では使用しないでください。正常な燃焼ができなくなる可能性があります。こえて使用する場合は弊社又は弊社代理店にご相談下さい。</p>
	<p>異常時使用禁止</p> <p>●万一異常を感じたときは、使用しないでください。 異常燃焼のおそれがあります。</p>
	<p>手や指、異物を入れない</p> <p>●ストーブの内部や燃料タンク内には、手や指、紙、布、プラスチック、おもちゃなどの異物を入れないでください。</p>
	<p>高温部に注意</p> <p>●燃焼中や消火直後は、高温部、放熱部、排気筒に手を触れないでください。 やけどのおそれがあります。</p>
	<p>なべ、やかん禁止</p> <p>●なべややかんなどは使用しないでください。 やけどや機器が破損するおそれがあります</p>
	<p>腰かけ禁止</p> <p>●腰かけたりしないでください。 ストーブの故障ややけどのおそれがあります。</p>
	<p>分解修理の禁止</p> <p>●故障、破損したら使用しないでください。不完全な修理は危険です。 故障、破損したら設置業者や弊社代理店にご連絡ください。</p>

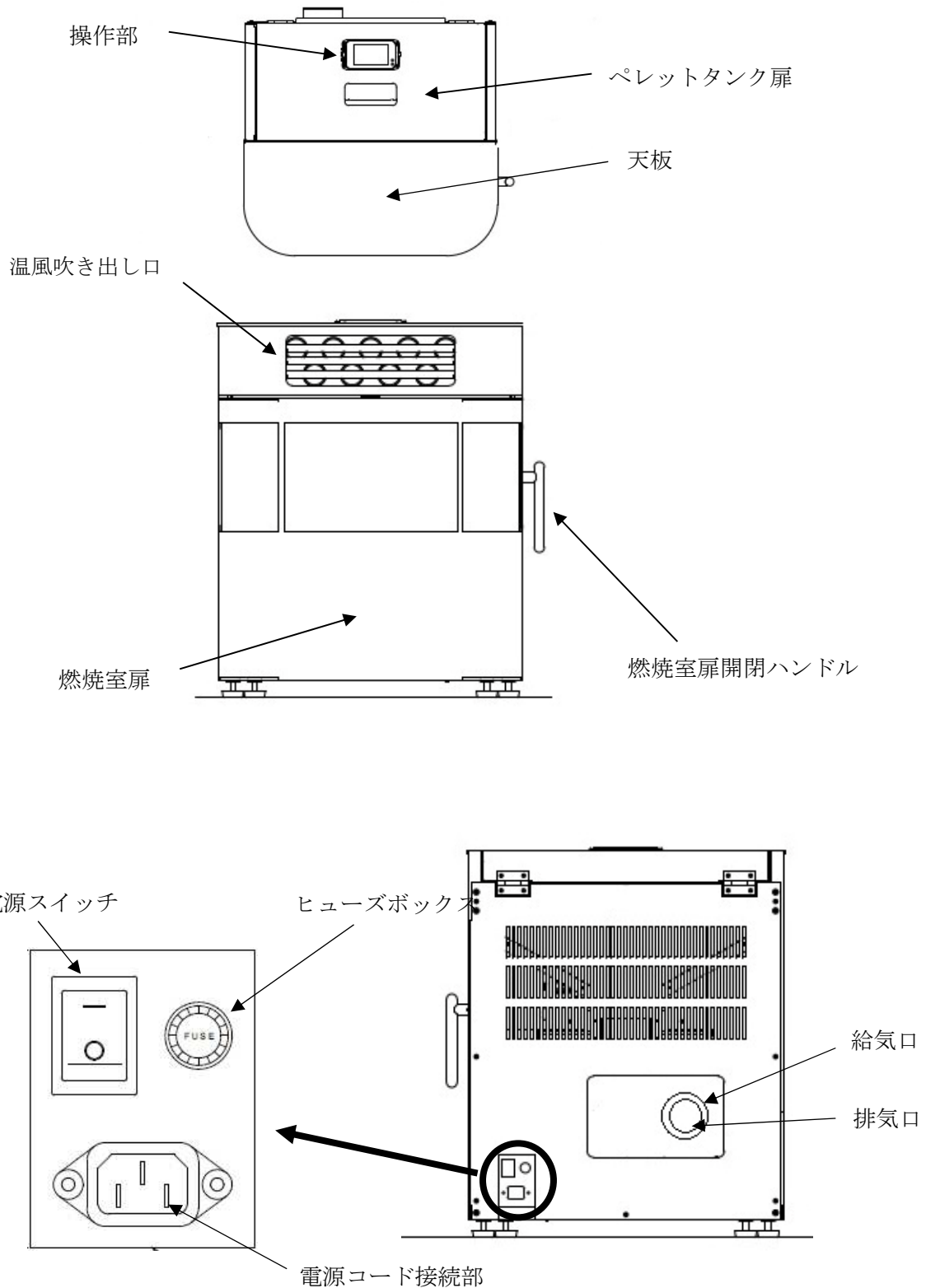
注意 (CAUTION)

	<p>燃料供給時消火</p> <ul style="list-style-type: none"> ●燃料供給は必ず消火してから行ってください。 火災ややけどのおそれがあります。
	<p>換気経路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ストーブを使用しているときに換気扇を使用する場合は吸気経路を確保してください。 気密性の高い室内で換気扇を使用した場合ストーブの排気が出来なくなる場合があります。
	<p>排気筒延長時の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●排気筒を弊社が推奨する長さ以上に延長する場合は設置条件によって燃焼パラメーターの調整が必要となる場合があります。そのまま使用しますと排気不良となり、異常燃焼の原因となります。弊社又は弊社代理店にご相談ください。
	<p>回転体に注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●運転中のペレットタンク内などに手を入れないでください。 回転物にはさまれ、けがのおそれがあり大変危険です。
	<p>燃料保管方法の注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●木質ペレットは、雨風の当たらない屋内で保管してください。 ●湿った木質ペレットを使用すると、不完全燃焼や故障の原因となります。
	<p>電源コードを傷めない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。 火災や感電の原因になります。
	<p>電源プラグは確実に差し込む</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。火災の原因になります。 ●ぬれた手での抜き差しはしないでください。漏電の原因になります。
	<p>長期間使用しないときは電源プラグを抜く</p> <ul style="list-style-type: none"> ●長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。 火災や予想のしない事故の原因になります。

3. 機器構成

3.1 概観

エコティ PR03 の概観は下記のようになります。



※背面には下記のような電源接続部があります。

4. 使用前の準備

4.1 燃料

- 燃料は弊社推奨する ISO 規格準拠の A1 認証品又は同等品質のペレットをお使いください。
A1 認証品以外の木質ペレットの使用は燃焼に支障をきたす場合があります。
- 木質ペレット以外の固形燃料などは絶対使用しないでください。
故障や燃焼不良また火災の原因になります。
- ペレットが粒子状に崩れた粉の多いものは使用しないでください。
燃焼不良やペレット詰まりの原因になります。

4.2 供給

※ペレットの供給はストーブを消火させてから行ってください。



1. タンク扉を開ける



2. タンク内にペレットを投入する。※ISO規格のA1認証品を推奨します。

- ペレットをタンク上面付近まで投入する。
- ペレットはタンク内に均一になるように、ならしながら投入してください。



3. タンク扉を確実に閉める

- タンクの扉が確実に閉まっているか確認してください。
すき間があると燃焼不良の原因になります。



4.3 点火前の準備と確認

1. ストーブ周辺の確認

- ストーブ周辺及び排気筒の周辺に引火物や可燃物を置かないでください。
火災や予想しない事故の原因になります。



2. 排気筒の接続の確認

- 排気筒が正しく接続されているか確認ください。
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて大変危険です。



3. 燃料の確認

- 燃料タンク内には、木質ペレット以外の固形燃料やガソリンや灯油などの液体燃料を絶対入れないでください。
火災や故障、燃焼不良の原因になります。
- 推奨品以外の木質ペレットの使用は、機器に支障や燃焼不良をきたす場合があります。



4. 燃焼室扉、タンク扉、灰受けのかん合の確認

- 燃焼室扉やタンク扉、灰受けなどが確実に閉まっているか確認してください。
すき間や外れなどがあると燃焼不良になったり、排ガスなどが室内にもれたりして危険です。



5. 電源プラグの接続

- 電源プラグを100V（15A以上）の専用コンセントに差し込んであるか確認してください。
※必ずアースを接続してください。

4.5 燃焼室のセットアップ

1. 燃焼室扉を開きます

- 正面右側の燃焼室扉開閉ハンドルを持ち手前に引き上げてください。
燃焼室扉が開きます。
- 扉を開いた状態で扉に重量をかけたり、無理に開いたりしないでください。
故障の原因となります。
- 閉める時に確実にロックされていることを確認してください。
燃焼不良や排ガスが室内に漏れて火災が発生するおそれがあります。



燃焼室下部には大きな筒と小さな筒の2本が背面から伸びています。



2本の筒が燃焼ポット受の穴に入るように燃焼ポット受を設置します。
前側2ヶ所ある切りかけにポット受のつめを入れてください。



真ん中の細い筒が中央下部の穴に入るように燃焼ポットを設置します。
このとき燃焼ポットが傾かないよう注意してください。上から押さえてきちんと安定する場所が正常な設置位置です。



4.6 灰処理

※必ず消火後、完全に冷えた状態で行ってください。

1. 燃焼室扉を開ける

●燃焼室扉を開きます。



2. 灰受けを引き出す

●メンテナンス扉の中の灰受けの蝶ねじをゆるめて灰受けを、手前に引き出して灰受けを取り出す。



3. 灰受けの灰を不燃材で作られた容器に除去する。

- 容器の灰は24時間程度保管し、完全に冷えた状態で廃棄してください。



灰について

灰は木灰として、菜園などに有効に活用できます。
廃棄物として処分する場合は、各市町村によって回収方法が異なりますのでお住まいの市町村にご確認ください。

4. 灰受けを戻しネジをしっかりと締めてメンテナンス扉を閉める。
 - 灰受けが確実に挿入されているか確認ください。
すき間があると燃焼不良の原因になります。
 - 奥にペレットや異物が無いか確認してください。
灰受けが完全に閉まらない原因となります。掃除機等で掃除してください。



ご注意

- 灰受けは消火後もしばらく高温です。
作業は完全に冷えたことを確認してから行ってください。

5. 使用方法

5.1 着火

着火前には必ず燃焼ポット内を確認してペレットや灰をすべて取り去ってください。

ご注意

着火不良で、何回も着火操作をしたあとに着火すると、燃焼ポット内にたまった多量のペレットによって着火時に大きな音がしたり、多量の白煙が発生する場合があります。また、着火後も過剰燃焼して炎が大きくなり、燃焼ポット外にペレットがはみ出して灰受け内へ燃焼殻が落ちたりします。
たまった燃料が燃えつきるまで待ってください。その時「停止ボタン」は、絶対に押さないでください。また電源プラグはコンセントから絶対に抜かないでください。

1. ペレットの確認

- タンク内にペレットが十分供給されていることを確認してください。


2-1 運転/停止スイッチを押す

- 背面の主電源を入れてください。
- 燃焼ポットにペレットや灰などがいないか確認してください。
また、残っている場合は取り除いてください。
- 運転/停止スイッチ長押し（2秒）して「運転」にしてください。


ご注意

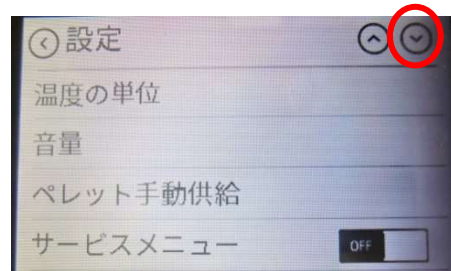
- 点火は自動で行います。
マッチやライター、点火剤などを使用して点火させないでください。
- 運転は、2秒長押しします。

- 風量モードの設定は着火には影響しませんが、着火後、約7～10分後に送風が開始されますのでお好みの数値に設定してください。
- 着火時には、排気筒トップより白い煙が出ることがありますが異常ではありません。しばらくすると煙は出なくなります。
- ご購入されて初めて使用されるときに、製品の塗料やパッキンなどの焼けるようなにおいがする場合があります。このような場合は、お部屋の窓を少し開け、半日から1日程度、火力「5」で運転をしてください。
- タンク内の燃料が少なくなったら補給してください。
※タンクが空になるまで燃焼させると燃焼不良により排気口から白煙や臭気が発生する場合があります。
- 運転中、正常に燃焼しているかどうか、燃焼室扉のガラスから見て炎の状態を確認してください。
- 初めて運転するときや、燃料タンクを空にして燃料補給したあとなどは、燃料供給経路内にペレットが満たされていないことにより、着火できないことがあります。このようなときは、「燃料供給」を押下しペレットが出るまで押し続けてください。

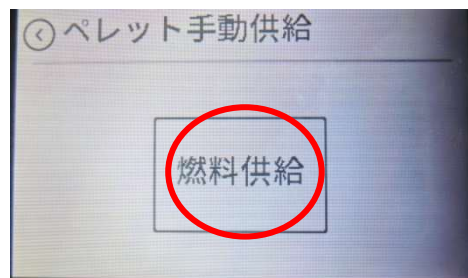
- ①  設定をタッチしてください。




- ②  をタッチして
ペレット手動供給が出てくるまで
押し下さい。



- ③ ペレット手動供給をタッチし
中央の燃料供給をタッチください。
※タッチしている間モーターが
動作します。
※ストーブ稼働中は操作不可となります。



- ④ ペレットが出てきたら  戻るボタンをタッチして最初の画面に戻ります。

6. コントローラーの取扱い

6.1 仕様

温度範囲	-20℃～+85℃（停止時） -20℃～+70℃（動作時）
湿度範囲	95%（結露なきこと）
保護等級	IP20
画面	TFT 静電容量方式タッチパネル 65k色 スワイプ機能
画面解像度	400×240 ピクセル 69.4×41.76mm (3.2in)

6.2 はじめに

1. 透明保護フィルムをはがしてください。

注：保護フィルムはがさないと、動作しなかったり、誤作動する場合があります。

2. ストーブの電源を接続

- ストーブの電源スイッチを入れてコントローラー画面が出ることを確認する。



3. 日時を設定する。

- コントロールパネルで正しい日付と時刻を設定してください。
（詳細は6.5を参照してください。）

注：設定しないとタイマーが使用できません。

6.3 コントローラーの機能

1. アイコンの説明

アイコン	説明	アクション
	温度メニューに入る	タッチ
	現在の動作状態の確認	タッチ
	メインメニューに入る	タッチ
	+UP	タッチ/ホールド
	-Down	タッチ/ホールド
	延滞スタート/ストップメニューに入る	タッチ


	延滞開始/停止選択	表示のみ
	タイマーメニューに入る	タッチ
	週間タイマーON	表示のみ
	統計メニューに入る	タッチ
	設定メニューに入る	タッチ
	ヒントメニューに入る	タッチ
	ストーブをONにする	ホールド (2秒)
	ストーブをOFFにする	ホールド (2秒)
	画面ロック	表示のみ
	エラーあり	タッチ
	閉じる	タッチ
	アラートあり	タッチ
	戻る	タッチ
	下に移動	タッチ
	上に移動	タッチ
	詳細 (サービスモードのみ)	タッチ
	週間タイマーON/サービスメニュー有効 その他	タッチ
	週間タイマーOFF/サービスメニュー無効 その他	タッチ

6.4 アイドルモード

コントロールパネルは待機時の表示でLOGや時計・温度などを表示することができます。

注：サービスモードからアイドルモードに切り替わる事はありません。

6.5 日時設定

 をタップして設定メニューに入ります。

「時計」をタップして時間メニューに入り時間と曜日を設定して確定します。


「日時」をタップして日付メニューに入り日、月、年を設定して確定します。

注：日付と時刻を正しく設定していないと週間タイマーが有効になりません。

6.6 設定温度

設定温度に応じてコントローラーは室内の温度が設定温度になるように燃焼します。

1. 目標温度を設定する。

 をタップして温度メニューに入り目標（希望）の温度に設定します。


温度メニューの表示は次のようになります。

- ・設定された温度→大きな数字で表示されます。
- ・実際の室温→小さい数字で表示されます。



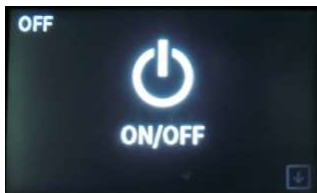
7. ストーブの操作方法

7.1 ストーブをオン/オフする。

タッチパネルで  を2秒長押ししてオンにします。


- ・2種類の方法で着火する事が出来ます。

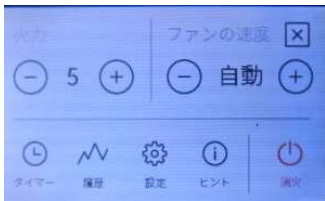
① 下記の画面の中央部を2秒長押し



② をタップしてメインメニューから を2秒長押ししてオンします。



タッチパネルで  を2秒長押ししてオフにします。




- ・消火の場合は1種類しかありません。

7.2 タイマー設定について

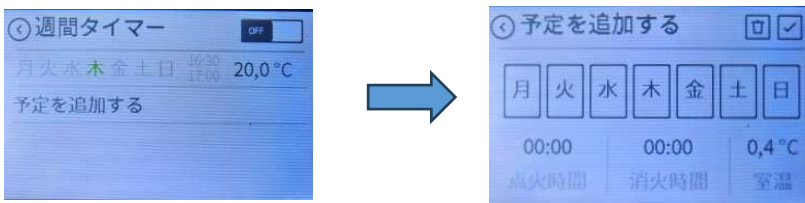
1. 週間タイマーの設定

最大6つの時間間隔を設定出来ます。(1日に最大3つまで設定可能)

 をタップして週間タイマーメニューに入り「予定を追加する」をタップします。

設定画面で着火時間、消火時間、室温、曜日を設定し をタップして完了です。

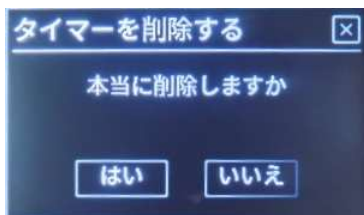
追加でタイマーセットしたい場合は手順を繰り返します。(最大6個)



タイマーを削除したい場合は削除したいタイマーを選択して  をタップ

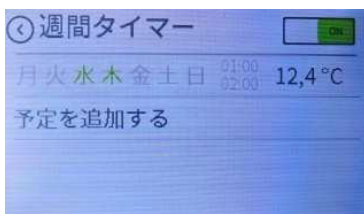
「本当に削除しますか」と表示され「はい」をタップして完了

削除しない場合は「いいえ」をタップします。



タイマーモードを有効にする場合は、画面右上部にある ON をONにします。

タイマーモードを無効にする場合は、画面右上部にある OFF をOFFにします。



注：燃焼中にタイマーを設定する場合はタイマーを有効にした状態で設定下さい。


注：タイマーがセットされていても室温が設定温度より高い場合はオンにならず室温が設定温度が下回るまで待機となります。

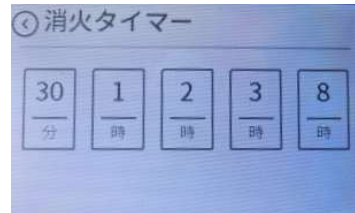
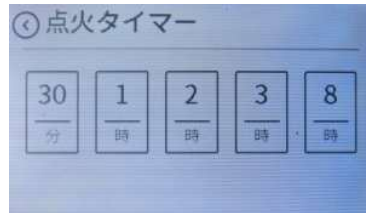
例として


タイマー	オン時間	オフ時間	設定温度
T 1	4:00	8:00	20℃
T 2	11:00	14:00	20℃
T 3	6:00	17:00	23℃
T 4	7:00	11:00	22℃
T 5	13:00	19:00	20℃
T 6	16:00	22:00	18℃

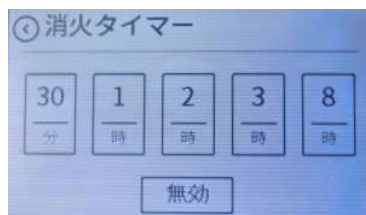
時/日	月			火			水			木			金			土			日		
0:00																					
1:00																					
2:00																					
3:00																					
4:00																					
5:00	T			T			T			T			T			T					
6:00	1			1			1			1			1			1					
7:00																					
8:00																					T
9:00																					4
10:00																					
11:00		T			T			T			T						T				
12:00		2			2			2			3						3				
13:00																					
14:00																					
15:00																T					T
16:00															5						5
17:00																					
18:00																					
19:00			T			T			T			T				T			T		T
20:00			6			6			6			6				6			6		6
21:00																					
22:00																					
23:00																					

2. 簡易タイマー

簡易的にストーブのオン/オフタイマーが設定できます。
 設定時間は、30分・1時間・2時間・3時間・8時間を選択可能です。
 設定するには  タップして下記画面に入り希望の時間をタップしOKを押して下さい。



無効にする場合は  をタップして無効をしてください。




7.3 エコモード

ストーブは室温が設定温度を超えて上昇するとエコモードに入り自動的にオフになります。室温が設定温度を下回ると自動的に再着火します。




7.4 火力出力の調整

火力調整は5段階で調整します。

 をタップしてメインメニューに入り希望の出力レベル1～5を設定します。

7.5 送風ファンの速度調整

送風ファン速度調整は5段階で調整します。(自動調整付き)

 をタップしてメインメニューに入り希望の速度レベル1～5、自動 を設定します。
 自動にした場合は、火力出力レベルに応じて自動調整します。

7.6 設定メニュー

1. 日時：タイマーを使用する為に、年、月、日、時間を設定します。
2. 燃料：品質の違うペレットによって設定します。（初期値は1）
ガラスが黒くなる、灰の量が多いなどの場合は設定値を2，3と上げる。
3. サーモスタット：使用しません。
4. 画面の設定：
 - ① 画面の明るさ：ディスプレイの明るさを自動又は手動で変更できます。
 - ② 待機時の表示項目：30秒間操作しないと自動的にアイドル表示モードになります。もう一度画面をタッチすると終了します。
表示される項目はオフか3種類から選べます。
 - ③ 画面クリーニング：画面を掃除する場合に30秒間操作ができなくする事ができます。
 - ④ 画面を回転させる：使用しません。
5. 温度単位：温度表示を℃（摂氏）または° F（華氏）に変更できます。
6. 音量：内蔵スピーカーの音量を設定できます。
7. 手動ペレット供給：初めて使う場合や燃料が無くなった後での再着火の際に燃料経路を満たし、着火失敗を防ぐ事ができます。
8. スクリーンロック：誤って設定が変更される事防ぐため画面ロックする事ができます。
ロックは2種類あり、「弱い」「強い」ではできる事が違います。
「弱い」はストーブのオン/オフはできますが、その他の操作はできません。
「強い」は、すべての操作ができません。
9. 言語：コントロールパネルの言語を日本語か英語に変更することができます。

8 エラー表示

コントローラーエラー一覧

エラー番号	エラー説明	内容	対策方法
A003	クリーニング	燃焼不良	燃焼室の掃除と排気筒を掃除してください。
A004	バッテリー残量低下	バッテリーの残量が低下しています。	バッテリーの交換が必要です。 販売店か当社に連絡してください。
A005	排気ファンセンサーエラー	排気ファンセンサーの故障	販売店か当社に連絡してください。
A007	負圧スイッチエラー	負圧スイッチの故障	販売店か当社に連絡してください。
E001	モニターエラー	モニターが故障しています。	販売店か当社に連絡してください。
E002	赤外線通信エラー	赤外線センサーが故障しています。	販売店か当社に連絡してください。
E003	通信配線エラー	配線が破断しています。	販売店か当社に連絡してください。
E004	通信配線エラー	配線が破断しています。	販売店か当社に連絡してください。
E101	着火不良 逆火防止	点火に失敗 負圧スイッチ作動	燃焼ポットの灰を掃除してください。 突風が吹いている場合は使用をお控えください。
E102	燃焼不良	排気筒又は燃焼ポットの汚れ 着火する前に手動で停止した。	炉内と排気筒の掃除をしてください。 着火する前に手動で停止しないでください。
E105	温度センサー故障	室内温センサー故障	販売店か当社に連絡してください。
E106	温度センサー故障	タンク温度センサー故障	販売店か当社に連絡してください。
E109	燃焼炉温度異常	燃焼炉の温度が異常 温度まで上がった。	ストーブの再起動はできません。 販売店か当社に連絡してください。
E110	温度センサー故障	燃焼炉温度センサー故障	販売店か当社に連絡してください。

E111	温度センサー故障	排気温度センサー故障	販売店か当社に連絡してください。
E113	排気温度異常	排気温度の温度が上がり過ぎ	火力レベルを下げるか送風レベルを上げてください。
E114	燃料タンク空	ペレットタンクが空になりました。	燃料タンクにペレットを補充してください。
E115	コントローラー異常	コントローラーの故障	販売店か当社に連絡してください。

9 点検・お手入れ

★詳しくは、別紙「メンテナンスマニュアル」を参照してください。

9.1 日々のお手入れ

※必ず消火後、完全に冷えた状態で行ってください。

1. 燃焼ポット

- 毎回、燃焼前に燃焼ポットの中に灰がたまっていないか確認してください。
- たまっている場合は燃焼ポットを取り出し掃除をしてください。
木質ペレットの質によって、燃焼ポットを掃除する頻度が変わります。
- ポット受けも取り外して掃除してください。

※燃焼ポット及び燃焼ポット受けが正確な位置にあるか確認してください。
正確な位置にないと着火不良や燃焼不良になります。

2. 燃焼室扉ガラス

- ガラスの汚れが気になる場合はガラスを布やウェットティッシュ、新聞紙等で拭いてください。
ペレットの種類や燃焼状態によってガラス汚れの程度が変わります。

3. 灰受け

- 前面下のメンテナンス扉を開けて灰受けを取り出し、灰を捨ててください。
- 灰受けの灰を不燃材で作られた容器に除去してください。
容器の灰は24時間以上保管し、完全に冷えた状態で廃棄してください。
- 灰受けは、消火後もしばらくの間、高温です。
作業は完全に冷えたことを確認してから行ってください。

●ペレットの種類によって灰を捨てる頻度が変わります。

- ※ 灰受けを戻すときに、パッキンが外れていないか確認してから戻してください。
蝶ネジが確実にしまっている事を確認してください。
しまりが確実にないと燃焼不良の原因になります。

灰について

灰は木灰として、菜園などに有効に活用できます。

廃棄物として処分する場合は、各市町村によって回収方法が異なりますのでお住まいの市町村にご確認ください。

9.2 シーズン終了時のお手入れ

長期間使用しない場合には以下のメンテナンスを行ってください。

★詳しくは、別紙「メンテナンスマニュアル」を参照してください。

1. ペレットタンクの掃除

- 残ったペレット燃料をすべて取り出してください。
- ペレットタンク内に残った木屑等を掃除機等で吸い出してください。
ペレットタンク内に残ったペレットや木屑は水分を吸い、内部の錆や供給部の故障の原因になります。

2. 燃焼室の掃除

- 燃焼ポット及び燃焼ポット受けを取り出し、灰を捨ててください。
- 燃焼室に残った灰やペレットなど掃除機等を使って取り除いてください。
燃焼室に残った灰やペレットが水分を吸収し、内部のサビや機器の故障の原因になります。

3. 灰受けの掃除

- メンテナンス扉を開けて灰受けを取り出し、灰を捨ててください。
- 灰受け皿や灰受け皿の奥を掃除機等で掃除してください。
- 灰受けを戻すときに、奥や灰受け皿に異物が無い事を確認してから戻してください。
灰受け皿に灰やペレットなどが残っていると灰受けがしっかり閉まらず燃焼不良の原因となります。

4. 排気筒の掃除

- 排気筒に煤や灰がたまって固まりになることがありますので、筒内を掃除してください。

排気筒内に残った煤や灰は排気の障害になり、不完全燃焼の原因となります。

9.3 再使用時のお手入れ

長期間使用しなかった後、再度使用を始める場合には以下の確認を行ってください。

- 排気筒内に虫や鳥獣が巣を作ることがありますので、中を確認してください。
- 開封後長期間保存したペレット燃料は湿気を吸っている場合があるので、水を吸って膨らんで、もろくなっている木質ペレット燃料は使用しないで新しい木質ペレット燃料を準備し使用してください。

10. トラブルシューティング

内容	確認事項	対策
運転/停止スイッチを押しても動作しない。	コンセントがつながっていますか？	エコティPRO3は電源が無いと動作しません。 AC100Vの専用電源コンセントに背面電源コードを差し込んでください。
	主電源スイッチはONになっていますか？	主電源スイッチをONにしてください。
	ヒューズは入っていますか？	背面電源部にヒューズボックスがありますので、ヒューズが入っていない場合や切れている場合は100V 15Aのヒューズを入れてください。
	表示部にそれ以外の表示がされていますか？	当社か代理店にご連絡ください。
黒い煙や煤が出る。	燃焼ポットの中が詰まっていますか？	燃焼ポットの中が灰等で詰まってしまうと正常な燃焼をしません。 掃除をして取り出してください。
燃焼ポットに灰がたまる。	ISO規格のA1認証品を使用していますか？	使用する燃料の質が悪いと灰がたまりやすくなります。燃料にあわせて灰をためずに燃やせる範囲に燃焼調節機能にて調整してください。
	扉のガラスが黒く煤けていませんか？	排気ファンの回転数が低いと燃焼ポット内に灰がたまりやすくなります。燃料のモードを調整してください。
	燃焼ポットがきちんと設置されていますか？	燃焼ポットが正しく設置されているか確認してください。 位置がずれていたり隙間があると正しく燃焼しません。
ペレットの量が変わる。	使用するペレットを変えませんでしたか？	ペレットの種類によってペレットの量が変わることがあります。使用するペレットを変更した場合は、正常に燃やせる設定が判るまで注意をしてください。

着火しない。	燃焼ポットがきちんと設置されていますか？	燃焼ポットが正しく設置されているか確認してください。 位置がずれていたり隙間があると正しく燃焼しません。
	ペレットが十分供給されていますか？	着火時には燃焼ポット奥の中央下部にある着火穴を塞ぐくらいまでペレット燃料が補給されている必要があります。
	動作を開始して 1 分後に燃焼ポット奥の中央下部にある着火穴が赤く発光しますか？	スイッチをタップすると着火用ヒータが動作し、燃焼ポット奥の中央下部にある着火穴に赤い発光が現れます。発生しない場合は販売店までご相談ください。
ストーブから強い臭いがする。	購入直後ではありませんか？	新品のストーブは最初臭いがあります。購入直後は換気をしながら試し燃焼をしてください。
	排気の臭いではありませんか？	室外には燃焼後の排気が出ますが、窓の位置や風向きで排気が室内に戻ってくる場合があります。その場合、木の燃える臭いがします。
炎が大きくなりません。	排気ファンの回転数が合っていますか？	排気の勢いが強いと炎が大きくなりません。ちょうどいい排気ファンの回転数を調節してください。
タイマーが動作しない。	タイマー設定は、されていますか？	タイマー動作は操作部のタイマー入/切スイッチがONにされているときに有効になります。
	時刻の設定は正しく設定してありますか。	現在時刻とタイマー時刻を設定する必要があります。時間がずれている場合や未設定の場合は正しく動作しません。

11. 仕様

名 称		ペレットストーブ
型 式 の 呼 び		PR03
区 分		密閉式ペレットストーブ
種 類	燃 焼 方 式	直接送風燃焼式
	給 排 気 方 法	強制給排気式 (FF 式)
	用 途 別 方 法	強制対流形
使 用 燃 料		木質ペレット※1
点 火 方 法		電気点火 (熱風点火式)
発 熱 量※2	最 大	5.1kw
	最 小	1.8kw
燃料消費量※2	最 大	1.0kg/h
	最 小	0.35kg/h
外 形 寸 法 (本体寸法)	高 さ	620mm
	幅	500mm
	奥 行	460mm
重 量		73kg
ペレットタンク容量		7.5kg
電 源 電 圧		AC100V (10A 以上)
定 格 消 費 電 力		40w (最大燃焼時)
排 気 筒 の 呼 び 径		φ120×φ80
安 全 装 置		感震消火装置、過熱防止装置。逆圧安全装置 点火安全装置。燃焼制御装置

- ※1 使用燃料は当社が推奨する木質ペレットをご使用ください。
(推奨燃料は ISO 規格「ISO17225」の A1 認証品又は同等品質のペレット。)
それ以外のペレットでのご使用は燃焼不良を起こしたり、途中失火したり、
エラーで止まることがあります。
- ※2 ペレット種類や状態により発熱量・暖房出力・燃料消費量が異なることが
あります。
(発熱量は木質ペレットの発熱量、4300kcal/kg を基準に算出しています。)

12. アフターサービス

12.1 保障について

★保障期間はご購入の日より1年間です。

- 故障や異常な症状がみられる場合は、事故防止のため使用をせずスイッチをコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ず代理店か、ご購入求めの販売店に点検修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対なさないでください。
- 保証書の規定にしたがって、代理店か当社が修理させていただきます。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、ご購入後1年以内に故障した場合には無償修理または交換いたします。
2. 保障期間内に故障して修理を受ける場合は、販売店までご連絡ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - (ア) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (イ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ウ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷。
 - (エ) 保証書の提示がない場合。
 - (オ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名、設置事業社名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - (カ) 消耗部品。
 - (キ) 故障の原因が本商品以外に起因する場合。
 - (ク) その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷。
4. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
5. 保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償保証をお約束するものです。したがって保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です

- 保障期間が過ぎている時の修理料金は、代理店かご購入求めの販売店に相談ください。
- 修理代金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

12.2 補修用性能部品について

- ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。



製造・販売 **株式会社 西村精工**

〒939-1661 富山県南砺市天神 56

TEL : 0763-52-0024

FAX : 0763-52-5893

E-mail : info@nishimura-sk.co.jp

HP : www.ecoty.info